

2010年8月17日

部会長：大澤 巖 (ダイワートブラジル)

=====化学品部会=====

**A. 2010年上期の回顧（対前年同期比）と下期の展望（対上期比）～総括**

17 会員よりアンケート回答を得たが、1 会員より 3 分野につき回答を頂き、計 19 回答について分野別にまとめた。文具分野は 2 会員、農薬分野は、原体（高濃度有効成分品）分野 3 会員、製剤分野 1 会員より回答を、また商社分野からは、3 会員から回答を得た。

<2010年上期の回顧全般>

売上については、19 回答中、増収 16 回答、不変 2 回答、減収 1 回答、利益に関しては、増益 16 回答、不変 1 回答、減益 2 回答であった。減収となったのは、肥料分野の会員であるが、会社方針による生産品目の整理、生産規模の縮小という戦略上の措置で、利益は増益であった。減益となった分野は、農薬製剤と種子分野であったが、前者は、財務収益の減による減益であり営業利益は、増益、後者は、大手顧客の事業撤退による影響であった。

総括として、2010 年上期は、昨年下半年からのブラジル経済回復基調に乗り、比較的安定なリアル高傾向がプラスに作用した分野が多く、また会員各社の企業努力により、素材分野、消費物資分野、商社分野、全般に亘り好調に推移した。

<2010年下期の展望>

売上については、19 回答中、増収予測 14 回答、不変予測 5 回答、減収予測ゼロ回答、利益に関しては、増益予測 13 回答、不変予測 6 回答、減益予測ゼロ回答であった。これは、下期も好景気が継続するとの予測と下期のクリスマスシーズンに消費物資分野で増収増益が見込める事、また各社の経営戦略が好結果をもたらすとの期待感によるものである。マイナス要因としては、上期同様、法規制の強化、ジェネリック品/違法輸入製品との競合、また懸念要因として、天候不順、為替の変動等が挙げられた。

**B. 分野別 2010年上期の回顧（対前年同期比）と下期の展望（対上期比）**

**1. 写真・デジタルカメラ**

①2010年上期の回顧

増収、増益であった。プラス要因として、グループ会社統合/代理店買収による経営の効率化と景気回復によるデジタルカメラ市場の拡大が挙げられる。マイナス要因は、競合による価格ダウン。

## ②2010年下期の展望

増収、増益予測。プラス要因としてクリスマスシーズンによる需要増、懸念材料としてリアル安が指摘された。

## 2. 筆記具

### ①2010年上期の回顧

2会員から回答を得たが、両社とも増収、増益であった。プラス要因は、ブラジルの景気回復とリアル高での推移による輸入コスト減。マイナス要因は、特に指摘されなかった。

### ②2010年下期の展望

2会員とも、増収、増益予測。プラス要因として、継続する好景気への期待感、クリスマスによる需要増加、販売促進活動の下期販売への効果が挙げられた。懸念材料として、一会員より不動産ブーム加熱によるバブルの崩壊による影響が指摘された。

## 3. 高級化粧品

### ①2010年上期の回顧

増収、増益であった。プラス要因としては、主力製品であるスキンケアのシェアがアップした事が挙げられる。マイナス要因として、ロレアル(ランコム)、LVMH(クリスチャンディール)、エスティローダ(クリニーク)の欧米メーカー各社が女性用化粧品分野において、認知度アップのために積極的に投資(化粧品店内での大型カウンター設置や直営店開始)し始めており、競争が激化している事が指摘された。尚、これら欧米各社とも輸入販売である。

### ②2010年下期の展望

増収、増益予測。プラス要因として、クリスマスシーズンによる需要増が大きい。懸念材料として為替変動が指摘された。

## 4. 一般用医薬品

### ①2010年上期の回顧

増収、増益であった。プラス要因は、外用剤市場の二桁の伸び率によるエンドユーザーの広がり。マイナス要因は、ANVISA(国家サニタリー監督庁)による法規制の強化。経口剤が、全てカウンター奥に陳列される事による外用剤の販売への影響が懸念されている(ついで買いの機会喪失)。

### ②2010年下期の展望

売上、利益とも不変の予測。プラス要因、マイナス要因ともに上期と同じ。

## 5. 家庭防疫薬

### ①2010年上期の回顧

増収、増益であった。プラス要因は、在庫の消化と大手ユーザーの資金繰りの好転。マイナス要因は、アルゼンチン経由輸入されている中国製ジェネリック品との競合が指摘された。

### ②2010年下期の展望

増収、増益予測。プラス要因として、喜ばしい事ではないが、デング熱の流行と下期が需要期に当たる事。マイナス要因は、上期と同じく、ジェネリック品との競合。

## 6. 農薬原体販売

### ①2010年上期の回顧

3会員より回答得たが、2会員は、増収、増益、1会員が売上、利益とも不変の回答であった。プラス要因は、対象作物面積の増加、経済の回復及び農業環境回復による農業融資の増加である。マイナス要因としては、中国製違法製品との競合が指摘された。

### ②2010年下期の展望

3会員とも増収、増益予測。プラス要因として、対象作物価格の高値基調、対象作物面積の増加、農業融資の増加、穀物全般の国際価格の先高感、新規投資（製造販売会社買収）によるビジネスの拡大が挙げられた。マイナス要因は、中国製違法製品との競合とラニーニャ現象による天候不順の懸念。

## 7. 農薬製剤販売

### ①2010年上期の回顧

売上、不変なるも減収となった。このマイナス要因は、前年同期に成功した為替オペレーションが、今期は、為替が比較的安定であることより、増益効果とならず、財務収益が減少した事による。プラス要因として、新商品の上市による売上、利益の増加が挙げられた。

### ②2010年下期の展望

増収、利益は、不変の予測。プラス要因は、下期に農薬需要期のピークがある事による売上増加。マイナス要因は、下期売上増加なるも、人件費等固定費の増加。この為、利益は、上期並みに留まるとの予測。

## 8. 肥料

### ①2010年上期の回顧

減収、増益であった。プラス要因としては、ブラジル経済の好転と共に海外の穀物市況、需要回復による農家の作付け意欲が、通常レベルに戻って来た事と不良債権の発生が減少した事が挙げられる。マイナス要因は、会社方針による

生産品目、生産規模の縮小。

②2010年下期の展望

売上、利益とも不変予測。プラス要因は、製品市況の安定。特記すべきマイナス要因は、なし。

**9. 種子（野菜・花）**

①2010年上期の回顧

増収、減益であった。プラス要因は、前年度の品切れ商品（不結球キャベツ=Couve Manteiga とカリフラワー）が供給可能になった事と新規商材（キャベツ=甘藍とメロン=黄皮）の販売が好調であった事。また、従来品（胡瓜、大根、パパイヤ、トマト）の市場シェアがアップした事が挙げられる。マイナス要因としては、欧州市場に依存している東北伯向けメロン種子販売の売上が減少した事と大手顧客デルモンテ・ブラジルの事業撤退による売上、利益の減少が指摘された。

②2010年下期の展望

売上、利益とも不変の予測。プラス要因は、主力商品・玉葱種子の安定販売、新規商材の販売増加と為替安定予測による利益確保。マイナス要因は、草花主力商品であるガーベラ、トルコ桔梗（ユーストマ）の品薄である。

**10. 飼料添加物（鶏用）**

①2010年上期の回顧

増収、減益。プラス要因は、供給量の増加である。

②2010年下期の展望

増収、増益の予測。プラス要因は、供給量の増加と下期が需要期である事。特記すべきマイナス要因は、なし。

**11. 接着剤**

①2010年上期の回顧

増収、増益であった。プラス要因は、ブラジルの堅調な景気、特記すべきマイナス要因は、なし。

②2010年下期の展望

売上、利益ともに不変予測。プラス要因は、好景気の継続予測、マイナス要因は、レアル高によるブラジルから周辺南米諸国への輸出の停滞。

**12. 化学架橋ポリオレフィン発泡体**

①2010年上期の回顧

増収、増益であった。プラス要因としては、生産効率の改善によるコストダウン、自動車向け需要の回復（自動車向けビジネスのシェアが高い）、着色剤

等新規ビジネスのスタートが挙げられた。マイナス要因は、樹脂原料価格の上昇傾向。

②2010年下期の展望

増収、増益予測。プラス要因、マイナス要因とも上期と同じ。

### 13. 樹脂用着色剤

①2010年上期の回顧

増収、微増益であった。プラス要因は、景気回復、リアル高傾向、前期の人員整理による人件費減少、新規市場の開拓である。マイナス要因は、在庫増加、小ロットサイズの増加による製造コストアップ、競合他社の低価格戦略と顧客よりの価格引下げ/納入期限短縮要求圧力。

②2010年下期の展望

増収、微増益予測。プラス要因としては、内需の拡大、新規取引先の開拓、為替の安定、社内コストダウン運動の効果が挙げられる。マイナス要因は、上期と同じ。

### 14. 商社 (3社)

①2010年上期の回顧

増収、増益であった。プラス要因は、前年の反動、扱い商品の売上増加。マイナス要因は、リアル高。

②2010年下期の展望

2会員が、増収、増益予測、1会員が売上、利益とも不変の予測。プラス要因は、好調な国内景気とエタノール関連ビジネスの利益増加。懸念として、大統領選挙の結果が、為替への影響も含めて、不安要因になりうる事が指摘された。

以上